

令和元年第3回（9月）山陽小野田市議会定例会

請 願 文 書 表

受 理 番 号	受 理 年 月 日	件 名	請願の主旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員の氏名	付託委員会
第3号	令和元年 8月29日	小学校・保育園が無くなる 津布田地域のまちづくり の方針の策定を要望する 請願書	別添請願書 写しのとおり	山陽小野田市津布田 1019 道遊 博士 ほか 津布田住民 35名	河崎 平男 水津 治	総務文教 常任委員会

小学校・保育園が無くなる津布田地域の
まちづくりの方針の策定を要望する請願書

紹介議員 河崎 平男 ●
水津 治 ●



●件名

「小学校・保育園が無くなる津布田地域のまちづくりの方針の策定を要望する請願書」

●要旨

現在、全国的に少子化が進み、山陽小野田市においても例外ではなく、小中学校の児童数が増加する地区と減少する地区が混在する事が課題となっております。

そのような状況の中で、市教育委員会は平成30年3月6日に津布田小学校運営協議会において平成32年度4月の埴生小中学校の開校に合わせて、埴生小学校と統廃合する提案がなされました。その後PTAに対してのアンケート調査を行う等、PTAと協議は進んでいるものの、地域住民の方との協議はなくたくさんの不安を感じておられる地域住民の方も多数いらっしゃいます。

子供ファーストの考えでの埴生小中学校との統廃合には一定の理解をする一方、津布田地域に小学校がなくなるという事は私たちの先代が率先して築き上げてきた歴史と将来に向けた取り組みを失う事だといっても過言ではありません。地域社会の将来を担う子供たちと地域住民が安心して暮らせるよう、地域コミュニティの拠り所である小学校を欠く地域のまちづくりの方針を示す事は、市民が安心して住み続ける為の市民サービスの根幹であると考えます。

つきましては市内の中でも人口減少が著しい地域である津布田地域のまちづくりの方針の策定をここに要望いたします。

令和元年8月29日

請願者 代表 住所 山陽小野田市津布田 1019
氏名 道遊 博夫

ほか 津布田住民 35名

山陽小野田市議会議長 小野 泰 様